創立 1963年3月16日

上尾ロータリークラブ

Rotary

2022-2023年度R.I.テーマ
イマジン ロータリー

第2940回 例会
2022. 9. 22

会長あいさつ

2022-2023年度 深澤 圭司会長

週 報 No.2206
発 行 2022年 9月 29日

2022-2023年度
会 長 深澤 圭司
幹 事 門崎 由幸
副会長 長沼 大樹
副幹事 坂本 忠光
編集責任者・会員イメージ向上委員会
委員長 坂 佳三

ビジター
元RI理事 地区パストガバナー
北 清治様 (浦和東RC)

ゲスト
上尾市体育協会
上尾市スポーツ少年団
本部長 石井啓雅様
副本部長 宮内光樹様

2022 学年度
ロータリー未出席公会学生
荘 正宇くん

行事予定
10月 6日 卓話 八木 博様
「秩父地方のニホンオオカミについて」
10月13日 献血
10月23日 社会奉仕事業部
上尾駅前ポリオ募金
10月27日 卓話 ﾏﾃﾞｰｶﾝﾄﾞｰ
マニチャダさん

皆さん、こんにちは。本日もご出席いただきありがとうございます。本日は元RI理事 北清治様、上尾市スポーツ様、未出席公会学生 荘正宇くん、ようこそ。上尾ロータリークラブにお越しくださいまして ありがとうございます。北樋は本日の例会主題でもあります『ロータリーの目的』について、後ほど卓話を頂きたいと思います。

先週行われました、社会奉仕事業に参加されました会員の皆さま、たいへんお疲れさまでした。社会福祉法人尾島ゆみ会にサーモキャバーその他を寄贈して、職員の皆さまから沢山のお礼を頂きたいへんうれしく思いました。

さて仏教の世界では「徳を積む」という言葉があります。困っている人に親切にする、落ちているごみを拾う、そうする事でこれからの人生が豊かになると教えています。まさにロータリアンとしての徳とは無仕でだけいやりと感じました。

話は変わりまして、日本は会員研修例会です。当クラブは入会5年未満の会員が8名います。長いコロナ禍の中で、リアルに会員研修が出来ませんでした。そろそろ若手メンバーに、ロータリーの魅力や楽しみを知っていただこうと会長予定者の頃からこの会員研修例会を行いたいと思い企画し、年間4回の会員研修例会を予定しています。

第1回目は北樋による『ロータリーの目的』です。上尾クラブでも、緊急事態宣言が解除される年6月に当クラブの研修リーダーのもと、時間にして2時間ほどの会員研修を開催しました。研修内容は、高崎RCバストガバナーを務めた田中久主様が話した『ロータリークラブに入ろう』という本を使用、研修リーダーが読み上げた文章の意味や内容について若手メンバーとディスカッションを行いました。私もこの本を読んでロータリークラブには自分の知らないことがまだたくさんあると感じました。そして、私の会長挨拶は、ロータリーの歴史や意味等の会員に有益な情報を発信するように努めています。

北樋の卓話をとても楽しみにしています。本日の卓話をお聞きになって、皆さまのロータリーライフがより一層楽しいものになっていただけることを願います。

本日もよろしくお願いいたします。

Rotary
ROTARY CLUB OF AGEO

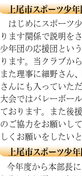
幹 事 報 告

門崎 由幸幹事

◇地区大会が11月12日（土）、13日（日）に開催されます。12日の対象者は、地区に出向いている会員と、会長幹事です。この日は元RI理事・北樋による特別公演が予定されています。 13日は全会員が対象、12時半出欠確認をしていますので、皆様の出席をよろしくお願いいたします。

◇前回の理事会で報告です。 協賛金のお振いが2件あり、今回クラブが創立60周年ということで上尾市民ゴルフ大会と2022あげおイルミネーションに協賛させていただきます。

お客様からあいさつ



上尾市スポーツ少年団 後援会会長 島村健様

はじめにスポーツ少年団の後援会会長を務めております関係で説明をさせていただきます。スポーツ少年団の応援団ということで、後援会を組織しております。当クラブからは大木（保）さんが副会長、また理事に就任さん、同じく理事に今年から宇多村さんにも入っていただいています。上尾クラブの冠大会ではバレーボールと野球の大会で出世話になっております。また後援会の方にも多くの方に協賛金のご協力をお願いしております。今年度も宜しくよろしくお願いをしたいと思います。

上尾市スポーツ少年団 本部長 石井 啓雅様

今年度から本部長になりました石井と申します。よろしくお願いいたします。上尾ロータリークラブ様にはスポーツ少年団の活動に関して、ご理解とご協力を常にいただいておりまして、たいへん感謝しております。在籍している子供たちは1078名。指導者・役員・スタッフは637名となっています。

子供たちの活動を通して、上尾の未来、大きく言うと日本の未来を担うような子供たちを育成するように我々指導者は一生懸命、頑張っております。今年度も ご支援ご協力をよろしくお願いいたします。

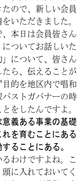
上尾市スポーツ少年団 副本部長（後援会幹事）宇内光樹様

今年度から後援会の事務局を、前任の稲垣から引き継ぎ担当しております。コロナの関係でなかなか登録も思うように進まなかったので6年生は駅伝大会でも参加者数が少な賞ったのですね。多少そういう影響は受けていますが、まだ少しずつ増えています。今後とも ご支援ご協力をお願いできればありがたいと思っております。

例会主題～会員研修例会

「ロータリーの目的」について

元RI理事 地区パストガバナー 北 清治様(浦和東RC)



私は浦和東ロータリークラブに所属している北清治でございます 今、元RI理事というご紹介いただきました。私は当地区の2004~2005年のガバナーでございます。

本日は、私がロータリーのいろいろな経験をさせていただいた中で、今日、実は会長から新しい会員が非常に多くなってきたので、新しい会員向けに話をしてくださいと要請をいただきました。クラブごとに文化が異なるので、本日は会員皆さんに向けて「ロータリーの目的」についてお話しいたします。

「ロータリーの目的」について、皆さんにどのような形でお話してもらいたいと、伝えることができるか考えてみました。まず目的を地区内で唱和しましょうと、今日のお話は、大阪バストガバナーの時代です。大阪ガバナーは良いことをしたんです。

ロータリーの目的は意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むことにある。具体的には、次の各項を奨励することにある。

このように謳っているわけです。この奉仕の理念っていうのをよく頭に入れておいてください。ロータリーの目的が作られていく過程の中で「社会奉仕に関する1923年の声明（決議23-34号）」は聞いたことがあると思うのですが、ロータリーは1905年に作られました。当初は、お互い同士が親睦で取りをたくさんやっていこうという形でスタートしたわけですが、5年ぐらいで、ロータリーはこれだけではダメだ、ロータリーは自分たちのことだけしかやってないんじゃないか、人のために やらなきゃいけないということで地域社会に奉仕をしようと、シカゴで公衆便所を作ろうとなりました。

1910年、職業倫理ができ、自らのことだけを取り組むのではなく、地域社会のために奉仕すべきだというロータリーの中で対立が起こりました。喧々囂々ろって、迎り着いたのが「社会奉仕に関する1923年の声明（決議23-34号）」というとこなんですね。ここにロータリーの奉仕、理念を理解する、根本的な位置付けがあるということです。

決議23-34号を読んでみますと、

1）ロータリーは、基本的には一つの人生哲学であり、それは利己的な欲求と義務およびこれに伴う他人のために奉仕したいという感情とのあいだに常に存在する矛盾を和らげようとするものである。

ということ、これはご理解いただけますよね。利己と利他、この心の葛藤を、より高い次元に引き上げていこうというロータリーの理念。言うだけ利己と利他、両方とも利する奉仕ですね。自分も成長しお互いに良くなる、**この哲学は奉仕ー「超我の奉仕」の哲学であります。「超我の奉仕」は「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる」という実践的な倫理原則に基づくものである。**

この最もよく奉仕する者が、実は職業人としての奉仕概念を言ってるわけです。日本のロータリーは職業奉仕だというんですね。これは日本だけなんですね。私はロータリーがだいぶおかってきてからも職業奉仕と目的は、どこに書いてあるんだろうと一生懸命探して、なかなか見つけられず、ただ引着いたのが、この決議23-34号です。会則だけを変遷しながら1934年、今の目的の原型ができ、それから基本的には変わってないというのが現実であります。この決議23-34号は、6項目からなっておりますが、今第1項を言いました。

次に第4項には、

4）奉仕する者は行動しなければならない、従って、ロータリーとは、単なる心構えのことをいうのではなく、また、ロータリーの哲学も単に主観的なものであってはならず、それを客観的に行動に表さなければならない。そして、ロータリアン個人もロータリークラブも、奉仕の理論を実践に移さなければならない。

我々ロータリアン、そしてクラブとしても、行動に表さなければダメですよということをここで謳っています。ここが原点となって、あらためてロータリーの目的に戻ってみると、**ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎として、奉仕の理念を奨励し、これを育むことにある。具体的には、次の各項を奨励することにある。**実はこれがロータリーの目的の本文なんですね。 そして、具体的には次の各項を奨励することにある、第1項から第4項までですね。この4つの項目は等しく重要な意味を持ち、また同時に行動を起こさなければならないということで、しっかりと決まってる。これは、ロータリー目的の全部が1つの文章ですよ、ということ言ってます。そして先ほどの決議23-34の中で説明し超我の奉仕いうのは、最もよく奉仕するもの、最も多く報いられるという実践的な原理の中で2つが一体になって奉仕の理念が生まれてくるということです。奉仕の理念とは、他の人を思いやり、他の人のために役に立つことを考えること、人様の役に立つことをする、こういうことが大事です。そして、先ほどこの文章は一体でありと話しましたけど、

具体的には、次の各項を奨励することにある：第1知り合いを広めることによって、奉仕の機会とすることですね。奉仕は日本では非常に狭い意味で解釈されますが、アメリカでは「サービス」というのは非常に広い言葉で使っています。いろいろな業種の人たちと出会う、いろんな経験をしている素晴らしい方と出会う、そういうところで学び合う人間形成の場所、そして素晴らしいリーダーシップを持った素晴らしい経営者の力々と出会って、いろんな話を先輩から聞いてみたり、自ら名乗めて、日本のロータリーの礎を築いた米山梅吉さんは、ロータリーは人生道場、人間形成の場所ですよと言っています。奉仕の機会として、思いやりの心とこういうことを、しっかり身につけるような場所です。

第2 職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事は全て価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会として、ロータリアン各自の職業を高深なものとすること。これは、職業人としてのロータリアンでもある。皆さんのやってる仕事は、世の中のためになるような仕事という強い認識と責任をしっかりと持つべきであるということ、そして、また その事業を通して社会に奉仕する機会として、奉仕の機会としてロータリアンの職業の高度性高めましょうということを言っております。

第3 ロータリアン一人一人が個人として、また事業およびは社会生活において、日々奉仕の理念を実践すること。

第4 奉仕の理念で結ばれた職業人が世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること。

だから、仕事はお客さんのために思いやりをもって行ったことは、巡り巡って、自分のところに帰ってくるんですよっていうことですよね。そうする中で、やっぱり奉仕ーービジは魯い注ビいいっていうんですね。大きな見返り、福願として返ってくるということを言っておりますし、わかりやすく言うならば、収穫は後から来るということです。

これがロータリーの根底に流れていて、超我の奉仕、自己研鑽としての奉仕、ロータリーの職業人としての商売のあり方、こういうものをしっかりとこって持っていましょうということです。そして、そこに先ほどの奉仕の理念、これはロータリーの根幹としてロータリアンに流れてるものなんですよ、ということです。

1、2、3、4項を読ませていただきました。私の説明の仕方で皆さんに届いてるかどうかわかりませんが、ぜひ機会あるごとに、これは何を言ってるのかひとつくりと目的と決議23-34号を読み込んでいってもらうと、わかるのではないか、理解していただけるんではないかなうかな、という風に思います。本日はお招きいただきありがとうございました

スマイル

北樋 ありがとうございました！

深澤会長／門崎幹事／長沼副会長／坂本副幹事／武重会員／大塚信助会員／吉川会員／小林会員／村岡会員／大木保司会員／細野会員／大塚崇行会員／島村会員／齋藤博義会員／齋藤哲雄会員／須田会員／鎗口会員／宇多村会員／斎藤修弘会員／小田切会員／丹井会員／大木崇愛会員／関口良康会員／山崎会員

出席率

会員数	35
出席免除	7
出席者	31
出席者数	23
	74.19%

第2939回例会
2022.9.15

上尾あゆみ会大石事業所・ふじ学園に社会奉仕事を行いました

施設利用者及び職員・訪問者からコロナの感染を引き起こさないよう感染予防を目的にサーモキャバー、空気清浄機、タブレット寄贈を寄贈し、寄贈式を行いました。有効に活用されることを願います。